

あいがとうがいっぱい！

笑顔がいっぱい！ 緑ヶ丘小学校



令和4年度  
学校便り 1月号②



文責 校長 長友

この学校便りは、本校のホームページでもご覧になることができます。

**あけましておめでとうございます。**

2023年、令和5年が始まりました。コロナやインフルエンザも心配ですが、みんなが明るく笑顔になれる年になってほしいと願っております。今年もどうぞよろしく願いいたします。

**新しい自分を見つけよう！** ～始業式でこんな話をしました～

今年うさぎ年。うさぎのように大きくジャンプできる年になってほしいと願っています。ジャンプといえば、年末になわとびをがんばっていましたね。さて問題です。なわとびで61回跳べた人と601回跳べた人はどちらの人がうれしかったでしょうか。「それは601回とんだ人だろう」と思うかもしれませんが。60回しか跳べなかった人が61回跳べたうれしさと600回しか跳べなかった人が601回とべたうれしさを比べることはできません。どちらも大きな喜びなのです。できなかったことができるようになる。これまでなかった新しい自分を見つけることは何よりもうれしいことなんです。新しい自分を見つけるためには次の四つのことが大切になってきます。一つ目は、まずできるようになりたい、できるかもしれないと思うこと。二つ目は、しっかりと目標をもつこと。三つ目は続けること。四つめは楽しく取り組むことです。今年1年でたくさんの新しい自分がみつかるといいですね。



**学校保健委員会～メディアから子どもを守るために～**

12月にNPO法人子どもとメディアインストラクターの今村光代様を講師にお招きし講話をしていただきました。お話の一部を紹介します。「成長期は脳を使うほど脳は発達します。会話や絵を描く、外で遊ぶ等は人間らしい心の動きを司る前頭前野の発達を促します。一方、ゲームは脳を使っているようでその前頭前野はほとんど使っていません。発達を促す行動をすべき時間がゲームによって奪われています。しかも、ゲームは脳が気分良くなるように仕組み、やり続けるようにできています。WHOも「ゲーム依存」を病気と認定しました。アルコールやギャンブル、薬物と並び治療が必要な疾病になると承認されたということです。そうってからでは改善の道は厳しくなります。子どものために良い方に導き、子どもを守れるのは親しかいないということです。」



**そうきんをいただきました。ありがとうございます。**

はげまし隊としてもお世話になっている炭村律子様から、たくさんの手作りそうきんを寄贈していただきました。緑ヶ丘小の子どもたちがますます一生懸命そうじに取り組むと思います。ありがとうございました。